

エンディング産業展 (ENDEX) における アンケート調査報告 ①

仏教・お寺・お坊さんの印象について

総合研究所では、葬送儀礼に関する研究の一環として、葬送儀礼に関する実態を把握することを目的とし、去る2017(平成29)年の8月と11月に、「エンディング産業展(主催: TSO International、通称: ENDEX)*」において、主催者との共催により、アンケートと聞き取りによる調査を実施しました。

葬送儀礼や終活等に関するアンケートとしては、これまでも一般財団法人日本消費者協会等によるものがあります。しかし同種のアンケートは、遺族を中心とした一般消費者に対するもので、葬送儀礼の関連業者に対するものは、これまでありませんでした。今回、同産業展をアンケート対象に選んだのは、より良い葬儀を模索する上で、葬儀の執行に際しての協業者となる、関連業者に対する調査を、目的のひとつとしたことによります。

まず、アンケートの実施要領は次のと

おりです。

〈実施機会Ⅰ〉

日時…2017(平成29)年

8月23日～25日

場所…エンディング産業展2017

(東京ビッグサイト)

〈実施機会Ⅱ〉

日時…同11月8日～10日

場所…関西エンディング産業展

2017(インテックス大阪)

そして、アンケート回収数は、次のとおりです。

回収数…2221

〈回答者区分内訳〉

エンディング産業関連業者…991

宗教者…165

一般来場者…500

その他…271

不明(未記入)…294

アンケートの内容は、産業展内において、出展者と来場者に対して実施するため、次の2点に絞って行いました。

〈アンケート内容〉

- 一、仏教・お寺・お坊さんの印象について
- 二、葬儀と終活について

アンケート①
仏教・お寺・お坊さんの印象
 について

まずアンケートにおいて、仏教や寺院、僧侶に対する印象をテーマのひとつとしたのは、次のような理由からです。
 2015（平成27）年末に、ネット通販業者のアマゾンにおいて、僧侶派遣サービスが商品として扱われ始め話題となりました。その際に出された全日本仏教会のコメントに対し、従来にはみられないほど多くの意見が、仏教や僧侶に向け

て寄せられました。これはひとつに、日本の社会において、仏教や寺院、僧侶のあり方が問われていることの表れと考えられます。

また、近年の社会構造の変化のなかで、都市部を中心に、葬儀が実質的に仏教や僧侶との最初の接点となるケースが増えていきます。

そのような状況下においては、仏教や僧侶の与える印象が、ひとつの重要な要素となります。

そこで総合研究所では、葬送儀礼（それだけではありませんが）をより良いものとするための前提として、仏教および寺院、僧侶に対する現時点での印象の良し悪しはどの程度なのか（現状把握）、そしてどのような点が問題となっているか（信頼を失う要因となっているか）を調査することとしました。

* * *

まず、「仏教・お寺・お坊さんの印象について」に関する質問としては、「仏

教」および「お寺」、「お坊さん」の印象について、それぞれ5（良い）から1（悪い）までの5段階評価で訊ねました。これらの質問に対する結果は、それぞれ次のとおりでした。

仏教…4・1
 お寺…3・8
 お坊さん…3・5

（いずれも小数点以下第2位を四捨五入）

この結果から、

仏教 ↓ お寺 ↓ お坊さん

と、順に印象が悪くなっているようですが、順に印象が悪くなっているようすがうかがえます。

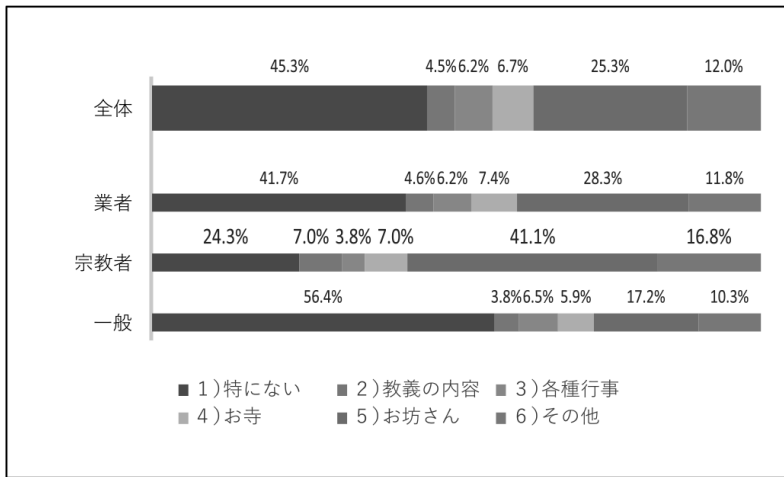
では、何が悪い印象を与える要因となっているのでしょうか。スペースの関係もありますので、重要と考えられる結果について、みていきたいと思います。

先の質問に続けて、アンケートでは、

【図表1】

問：仏教について、悪い印象を与えているものを教えてください
(2つ以内に○印)

回答者数	全体		業者		宗教者		一般	
	2020	構成比	925	構成比	157	構成比	445	構成比
1) 特にない	1010	45.3%	430	41.7%	45	24.3%	269	56.4%
2) 教義の内容	100	4.5%	47	4.6%	13	7.0%	18	3.8%
3) 各種行事	138	6.2%	64	6.2%	7	3.8%	31	6.5%
4) お寺	149	6.7%	76	7.4%	13	7.0%	28	5.9%
5) お坊さん	564	25.3%	292	28.3%	76	41.1%	82	17.2%
6) その他	267	12.0%	122	11.8%	31	16.8%	49	10.3%
計	2228	100.0%	1031	100.0%	185	100.0%	477	100.0%



悪い印象を与えている要因についての質問を設けました。その結果は次のとおりです。

まず仏教の場合、悪い印象を与える要因となっているものとしては、「お坊さん」が25・3%と、他(5%前後)を圧

倒して大きな割合を占めています。(参照↓図表1)。

この「お坊さん」が悪い印象を与えているという認識は、回答者別にみても、図表1にあるとおり、「エンディング産

業関連業者(以下「業者」)をはじめ「宗教者」、「一般来場者(以下「一般」)」のいずれにおいても、他の項目より高率です。なかでも、宗教者自身の回答では41・1%と特に高くなっています。これは、宗教者自身の自覚を表していると考えられます。

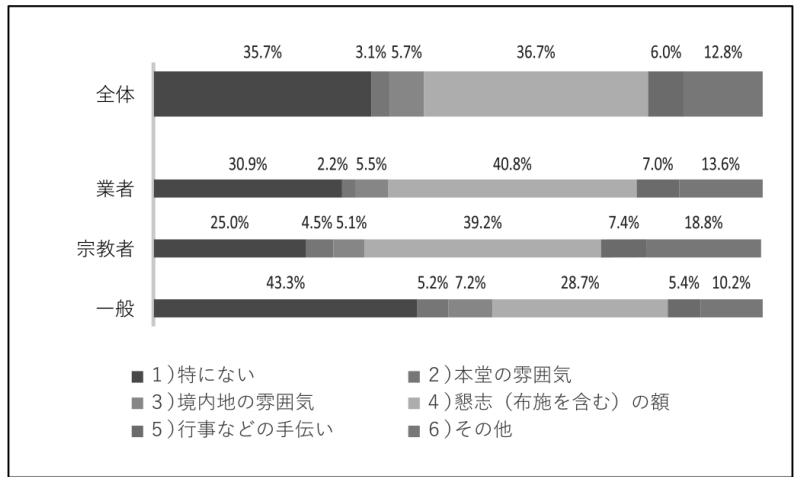
次に寺院の場合、悪い印象を与える要因としては、「懇志(布施を含む)の額」が、36・7%と高率です。それに対し他の要因は、いずれも5%前後です(参照↓図表2)。回答者別で見ると、懇志を納める当事者である一般が28・7%であるのに対し、むしろそれ以外の業者と宗教者がともに40%前後と、高率となっています。

そしてお坊さんの場合、悪い印象を与える要因としては、「法話の力量不足」、「人に対する態度^{*2}」と「金銭感覚」の3つが、それぞれ13・0%、22・8%、18・5%と、高くなっています。(参照↓図表3)。

【図表2】

問：お寺について、悪い印象を与えているものを教えてください
(2つ以内に○印)

回答者数	全体		業者		宗教者		一般	
	2028	構成比	924	構成比	152	構成比	452	構成比
1) 特にない	807	35.7%	320	30.9%	44	25.0%	217	43.3%
2) 本堂の雰囲気	71	3.1%	23	2.2%	8	4.5%	26	5.2%
3) 境内地の雰囲気	128	5.7%	57	5.5%	9	5.1%	36	7.2%
4) 懇志(布施を含む)の額	828	36.7%	423	40.8%	69	39.2%	144	28.7%
5) 行事などの手伝い	136	6.0%	73	7.0%	13	7.4%	27	5.4%
6) その他	288	12.8%	141	13.6%	33	18.8%	51	10.2%
計	2258	100.0%	1037	100.0%	1176	100.0%	501	100.0%



この結果から、まず僧侶の専門性という点では、特に「法話の力量不足」が、悪い印象を与えていることがわかります。また「人に対する態度」や「金銭感覚」という項目は、僧侶の社会性という面に関するもので、この面が僧侶の専門

性よりも高い数値を示していることは、大きな課題のひとつとして考えなければなりません。これらの点については、回答者別でみると、次のようにいえます。まず「教義の理解不足」に関しては、

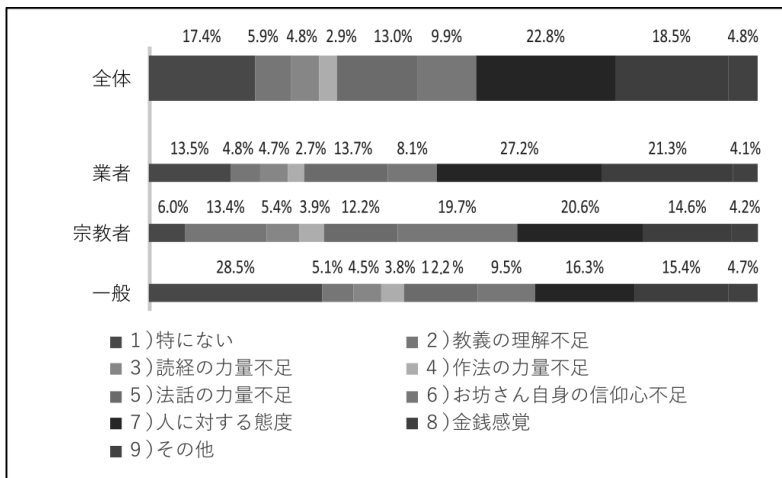
業者と一般がともに5%前後(4・8%、5・1%)であるのに対し、宗教者では13・4%と高率です。また宗教者においては、関連して「お坊さん自身の信仰心不足」も19・7%と高率です。それに対し、社会性の面である「人に対する態度」と「金銭感覚」については、宗教者自身がそれぞれ20・6%、14・6%です。一方、業者では27・2%、21・3%と宗教者より高い数値を示していて、他方では、一般が16・3%、15・4%と、宗教者より低いか、ほぼ同程度になっています。

「仏教」と「お寺」、「お坊さん」それぞれの印象を悪くしている主な要因については、上記のような結果となりました。問題点を整理すると、大きな課題として、次の2つがあげられます。ひとつは、懇志やお布施など金銭に関するもの。そしてもうひとつは、僧侶の法話力と社会性という、僧侶養成の問題です。最後に、仏教とお寺、お坊さん、それ

【図表3】

問：お坊さんについて、悪い印象を与えているものを教えてください（3つ以内に○印）

回答者数	全体		業者		宗教者		一般	
	2055	構成比	949	構成比	157	構成比	459	構成比
1) 特にない	581	17.4%	214	13.5%	20	6.0%	189	28.5%
2) 教義の理解不足	198	5.9%	76	4.8%	45	13.4%	34	5.1%
3) 読経の力量不足	159	4.8%	74	4.7%	18	5.4%	30	4.5%
4) 作法の力量不足	98	2.9%	43	2.7%	13	3.9%	25	3.8%
5) 法話の力量不足	435	13.0%	218	13.7%	41	12.2%	81	12.2%
6) お坊さん自身の信仰心不足	332	9.9%	129	8.1%	66	19.7%	63	9.5%
7) 人に対する態度	762	22.8%	432	27.2%	69	20.6%	108	16.3%
8) 金銭感覚	620	18.5%	338	21.3%	49	14.6%	102	15.4%
9) その他	159	4.8%	65	4.1%	14	4.2%	31	4.7%
計	3344	100.0%	1589	100.0%	335	100.0%	663	100.0%



それぞれの印象を悪くしているものとしては、「特にない」という回答について、全体として、悪い印象を与えているのは「特にない」というのは、「仏教」45・3%、「寺院」35・7%、「お坊さ

ん」17・4%と、順に低くなっており、これは先に紹介した悪い印象が同様に下がっている傾向に一致します。ただそのなかで、注目しておきたいのは、回答者別で見ると、宗教者の数値が、業者や一般より大きく下回っている点です。この結

果から、業者や一般と比較しても、宗教者自身の方が、問題があると認識していることを示していると考えられます。

* * *

次回（5月号）では、アンケートのうちひとつのテーマ「葬儀と終活について」の報告を行います。

（浄土真宗本願寺派総合研究所
仏教音楽・儀礼研究室長 福本康之）

*1 「エンディング産業展」とは、「葬儀・埋葬・供養に関する、設備・機器・サービスの集まるエンディング産業に関する専門展示会」で、2015年度より東京にて開催（関西での開催は今年度が初めて）されており、同種のものとしては日本で最大規模の催しです。

*2 「人に対する態度」としては、アンケートへの記入や聞き取り調査において、「上から目線」や「お坊様の言動」、「人格的に尊敬できない」、「近づきがたい」、「社会性、社会常識、マナー」の欠如」などが具体的な意見としてありました。